TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

これが神のやり方-神さまが計画された救いの方法

霊の思い　ローマの信徒への手紙 8:1-11

2026 年 11月 14 日 & 11 月 15 日

余沢 武　牧師

I. はじめに

こんにちは。まず、IBP(インパクト・ビルディング・プロジェクト)―現在の駐車場に新しい会堂を建設する計画についてお知らせします。皆様が忠実に献げてくださったことに心より感謝申し上げます。献金目標額は 5 億 820 万円です。現在、5 億 1020 万円が与えられました。神様を賛美します！！

現在、IBP チームはプロジェクト全体について、より正確な見積もりを算出しようとしており、その金額はおそらく当初の予定より若干多くなる見込みです。そのため、引き続き IBP のための資金集めを行います。また、現在、設計会社の選定も進められています。主の導きが与えられるよう、引き続きお祈りください。

ローマの信徒への手紙では、次のことを学びました・・。
私たちは神に対して罪を犯しました。しかし、イエスへの信仰によって、私たちは赦され、義と認められます。もはや律法の下ではなく、恵みの下で生きるのです。神の律法、戒めは聖なるものなので、私たちにある罪はそれを機会としてとらえ、私たちの不信仰をあらわにし、私たちの中にさらなる罪を生み出し、それによって罪がよりはっきりと認識されるようになります。クリスチャンとして、私たちは神の律法に従いたいという強い願いを持っているのに、別の法則―すなわち罪の法則―が私たちの肉において働き、私たちを虜(とりこ)にしています。
今日は、それがどのようにして起こるのかを見ていきましょう。まず、祈りましょう。

II. 霊の思い

(1)命の霊の法則

ローマの信徒への手紙 8:1-3a を開きましょう。
1 従って、今や、キリスト・イエスにある者は罪に定められることはありません。2 キリスト・イエスにある命の霊の法則が、罪と死との法則からあなたを解放したからです。3 律法が肉により弱くなっていたためになしえなかったことを、神はしてくださいました。

パウロは「今や、キリスト・イエスにある者は罪に定められることはありません」と言います。イエスが自分の罪の罰を引き受けてくださったことを受け入れ、イエスを主であり救い主として受け入れる人のことです。その人たちは今や「キリスト・イエスにあり」、イエスの内に置かれているのです。

その人たちはイエスと共に死に、イエスと共に葬られました。その人たちイエスと共に新しい命へとよみがえり、イエスの霊を分かち合っています。
パウロによると「罪に定められることはありません」

パウロはこう言っています。
「キリスト・イエスにある命の霊の法則が、罪と死との法則からあなたを解放したからです。」

私たちの体の中には、「罪と死の法則」というものがあります。私たちが「神の律法」に従いたくても、結局は罪を犯してしまいます――嘘をついたり(病院での私のように)、他者に対して罪深い怒りをぶつけたり(熱海での私のように)します。だから、私たちは死に定められるに値する存在です。
しかし、私たちの中にはもう一つの法則、すなわち「キリスト・イエスにある命の霊の法則」があります。私たちはキリスト・イエスの内にあります。その霊が私たちを「罪の性質」から解放し、「イエスの命」、すなわちイエスの性質と品性を身にまとうことができるのです。

その結果、「律法が肉により弱くなっていたためになしえなかったことを、神はしてくださいました。」神の戒めにはできなくとも、神はイエスを通してできるのです。今は、私たちの日常の現実が変わったのです。私たちの思いもそれに追いつく必要があります。

先日、家族で今度の月曜日(祝日)に何をするか考えていました。真っ先に私の頭に浮かんだのは、「待てよ。月曜日は高崎にいる父に会いに行く日じゃなかったっけ？」という思いでした。そして気付きました。「父はもうイエスのもとにいるんだ。3 週間前に亡

くなったんだ」と。現実は変わったのです。私は物事の見方を変えなければなりません。

短気やポルノ依存に悩む人々をカウンセリングしていると、彼らはしばしばそれは避けられないものだと捉えています。「それが自分の本質なんだ」「それが人生の現実なんだ」と。

しかし彼らが、現実が変わったこと―すなわち、「キリスト・イエスにある命の霊の法則」が彼らの内で働いていることを理解し、聖霊の助けを受け入れるようになると、たいていの人は驚きます。
以前は日々行われていたことが減って、週に１回や月に１回になり、完全に止まります。彼らはもはやそれに縛られる必要がないことに気づくのです。

(2)罪の処罰
それだけではありません。3b-4 節です。
3b つまり、神は御子を、罪のために、罪深い肉と同じ姿で世に遣わし、肉において罪を処罰されたのです。 4 それは、肉ではなく霊に従って歩む私たちの内に、律法の要求が満たされるためです。

途中の段階ではまだ罪を犯しているんじゃないかと思うかもしれません。パウロによれば、神はさらにこうされたのです。「神は御子を、罪のために、罪深い肉と同じ姿で世に遣わし、肉において罪を処罰されたのです。」

想像してみてください。クリスマスの日、誰かが私のドアをノックします。私がドアを開けると、そこには神がいて、大きなプレゼントを抱えていました。神はそれを私に手渡しました。私が包みを開けると、中には私とそっくりな人間がいました。そこで私は「これは何ですか？」と尋ねました。すると神は、「私の息子だ。君へのプレゼントだよ」とおっしゃいました。

この神の御子は、こんな罪深い私とそっくりな姿をしていたとしても、決して罪を犯しません。嘘もつきません。家族に怒りをぶつけることもありません。不道徳な行いも一切しません。神のすべての戒めと要求を完璧に守っています。そこで私は尋ねました。「でも、なぜ私にこれが必要なのでしょうか？」

神はこう言います。
「彼はあなたの無実の罪のための犠牲だよ。そうすれば、あなたの罪はすべて、キリストにおいて処罰されることになる」そして、こうたずねます。「あなたは彼を、あなたの罪のために献げられた犠牲として受け入れるか？　もしそうするなら、あなたの罪はすべて赦され、キリストの生き方を歩む力を与えてる聖霊を受け取ることになる」

クリスチャンとは、受け取った人たちです。だからこそ、私たちは罪に定められることはありません。
私たちは罪の犠牲を持っています。
私たちは今、イエスの霊の導きと力に従って新しい人生を歩んでおり、それによって罪に打ち勝つことができるのです。

(3)二種類の人たち
5-6 節：5 肉に従う者は肉のことを思い、霊に従う者は霊のことを思います。6 肉の思いは死であり、霊の思いは命と平和です。

パウロによると、人は二種類しかおらず、生き方も二種類だけです。
「肉に従う者」―つまり自分の望みに従って生きる人。そして、「霊に従う者」―つまり神の望みに従って生きる人。

一方は「肉のこと」を思う―自分の欲望、自分の富、自分の栄光。もう一方は「霊のこと」を思う―神の御心、神の備え、神の性質、神の栄光。
一方は「死」をもたらす―霊的な死、今も、これからも永遠に神のない人生。もう一方は「命と平和」をもたらす―神の性質と品性と共に生きる人生。

7-8 節：7 なぜなら、肉の思いは神に敵対し、神の律法に従わないからです。従いえないのです。8 肉の内にある者は、神に喜ばれることができません。

「肉の思い」を持つ人たちは、神に敵対しています。彼らは神の敵なのです。

このような人たちのことを「犯罪者や殺人者、性的不道徳者、邪悪な者」のことだと思う危険性があります。確かに、そうした人々も含まれています。しかし、「霊の思い」を持たない人、「神が望まれる」ように生きて

いない人は誰でも、「肉の思い」を持っているのです。それには次のような人たちも含まれます……。

ファリサイ派のように、非常に道徳的な生活を送る人たち。
社会貢献に熱心で、慈善団体や貧しい人々、あるいは抑圧されている人々に寄付をする人たち。
偉大な政治家、実業家、スポーツ選手、さらには神学者やキリストの奉仕者と呼ばれる人たちでさえも。

もし彼らが、「神が望まれること」—すなわち、神の御心、神の備え、神の性質、そして神の栄光—に基づいていないのであれば、彼らは「肉の思い」を持っているのです。彼らは神の敵なのです。

9節：しかし、神の霊があなたがたの内に宿っているなら、あなたがたは肉の内にではなく、霊の内にあります。キリストの霊を持たない者は、キリストに属していません。

「霊の思い」を持つ人たちは「霊の内に」おり、その霊は「父なる神の霊」でもあり、「キリストの霊」でもあるのです。

もしあなたがクリスチャンであるなら、聖霊があなたの内に宿っています。それだけではなく、父なる神の霊が内に宿り、御子の霊が内に宿ります。三位一体があなたの内に宿っているのです。

モーセがイスラエルの民をシナイ山へ導いたとき、神が彼らの前に現れました。
「雷鳴と稲妻と厚い雲が山の上に臨み、」（出エジプト記19:16）
そして、山全体が激しく揺れました。民は恐怖に震え、「神が私たちにお語りにならないようにしてください。私たちが死なないためです。」とモーセに懇願しました。

生ける神の姿をこの目で見るというのは、どのようなことか想像できますか。パウロによれば、今、それよりもさらに素晴らしいことが起こっています。しかし、それは山の上ではなく、私たちの内側で起こっているのです。

父なる神だけでなく、御子も聖霊も、私たちのうちに住んでおられます。だから、罪が私たちを支配するのではなく、私たちにある、父、御子、聖霊が私たちを支配しておられます。私たちの願いを導き、必要を満たし、私たちを通して神の性質と神の栄光を現してくださっているのです。

クリスチャンなら、これがあなたです。私たちは聖霊によって生きています。私たちは、まったく異なる人生を歩んでいるのです。しかし、聖霊を持たない人たちは、理解することが出来ません。その人たちは肉に従って生きることしかできないからです。

10-11節：10 キリストがあなたがたの内におられるならば、体は罪によって死んでいても、霊は義によって命となっています。（私たちはイエスの義を持っているから） 11 イエスを死者の中から復活させた方の霊が、あなたがたの内に宿っているなら、キリストを死者の中から復活させた方は、あなたがたの内に宿っているその霊によって、あなたがたの死ぬべき体をも生かしてくださるでしょう。

これこそがクリスチャンの生き方です。私たちは霊の内にあって、霊に従い、霊の思いをもって、霊の力によって生き、神の御心、神の備え、神の性質、そして神の栄光を追い求めます。私たちは今、まったく新しい現実の中で生きているのです。

私たちは、父なる神、御子、そして聖霊と共にいます。もっと神と共に過ごす時間を持ちたいと願っています。もっと神と語りたいと願っています。もっと神から教えを受けたいと願っています。それが私たちの一番の関心事となります。だから私たちは霊の思いを持っています。

人は二種類しかいません。肉の思いを持つ人と、霊の思いを持つ人です。あなたはどちらですか？ おわかりですね。

イエスを自分の罪のために死なれた方として受け入れ、今日、イエスの「義」と「聖霊」を受け取ることで、「霊の思い」を持つことができます。
ぜひ今日、そうしてください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

スモールグループ参加申込み

http://t-b-c.us/sgsu

オンライン献金

http://t-b-c.us/give

SG レッスンの PDF

https://gotbc.org/sg4626jp

TBC カレンダー
（TBC のスケジュールが確認できます）
https://tokyobaptist.org/calendar

★クラス 402
キリストの伝え方
11 月 15 日(日)1:00pm – 4:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 101 を修了したメンバーの方

★クラス 201
クリスチャンとして成長するには
11 月 28 日(土)1:30pm – 5:30pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 101 を修了したメンバーの方

全クラスの申し込み：
https://t-b-c.us/classes

急募！

奉仕者募集中！

1.日本語訳レイアウト&印刷

（女性 2 名募集）

英語のスキルは必要ありません。

・月 1 回、土曜日 16 時に TBC にて作業します。
今見ているこの紙を作成&印刷してもらいます。ひな形があるので翻訳された原稿をコピーして貼り付け整え、印刷するだけの簡単な作業です。

***スキル：MS Word の操作ができる方。**
***TBC の教会員であることが必須です。**

2.礼拝メッセージ翻訳

・1 ケ月半～2ケ月に 1 度、自宅でできます。
スケジュールは都合に合わせて選べます。
英語と日本語が出来る方

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org